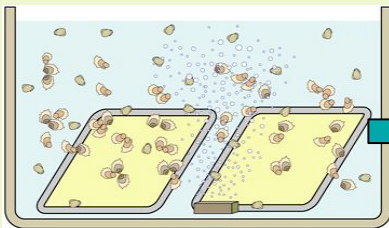


# 広島ブランドかき（一粒かき）の技術開発

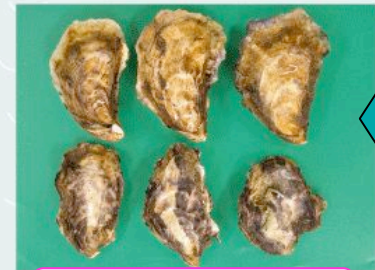
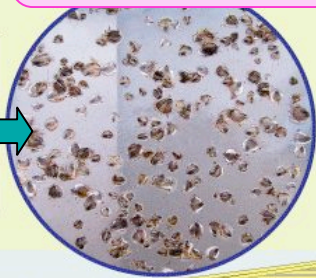
## 【研究成果】

- ▶ 三倍体かき(かき小町)稚貝の生産技術を確立した。
- ▶ 稚貝の室内中間育成技術を確立した。
- ▶ 海面でのカゴによる出荷サイズまでの育成技術を確立した。

一粒かき用の稚貝の生産  
(県栽培漁業協会)



培養珪藻を餌料とした  
室内中間育成  
(県栽培漁業協会)



出荷サイズ一粒かき

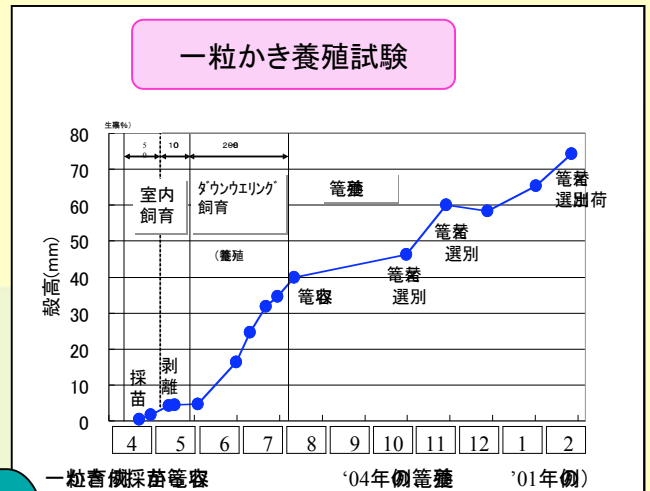
海面でのカゴ養殖  
(養殖業者)



- ・揃った形と大きさ
- ・少ない付着生物
- ・確実な身入り
- ・夏場の貴重なかき



かき小町



## 【稚貝の生産】

- ▶ 広島県栽培漁業協会に稚貝の生産を技術移転し、H18から70万個を県内各漁協に配布している。

各漁協からの希望  
配布種苗数は、  
140万個を超える。

## 【技術移転】

江田島市ひとつぶくん	H19	H20
配付種苗数 (個)	-	145,000
生産数 (個)	15,418	28,490
販売額 (円)	2,850,690	5,567,150

実施漁協名	生産状況 (H18試験生産)
大野漁協	配布種苗数 : 960,000個
大野町漁協	販売個数 : 110,930個
宮島漁協	販売額 : 2000万円
地御前漁協	

## 【波及効果】

- ▶ 2倍体かきにも本技術が応用され、大野漁協でブランドかき“巖蠣”, “安芸の一粒”を生産。

一粒かきとして、特別に生産することで、夏場にも大きさの揃った殻付かきが生産可能！  
“広島ブランドUP”